

議長（竹島ユリ子君） 日程第1 一般質問を行います。

通告順に発言を許します。

3番 山崎知信君。

3番（山崎知信君） おはようございます。

私ところの営農組合はまだ稲刈りが残っておりますので、できることなら来年から初めか終わりごろに開催していただければいいなと私個人的に思いますので、よろしくお願ひします。

私の一般質問でございますけれども、6月の一般質問にも申し上げましたとおり、東芦原地区の商業開発とそこに隣接する400坪の土地を、当局は村の南の玄関口としてどのような構想を持っているのかお聞きします。

総合計画後期基本計画住民アンケートでは、買い物を求める要望が60%もあり、当局は6月定例会で「スピード感を持って8月までに構想をまとめる」と発言されましたが、8月30日の議会全員協議会で副村長の説明もありましたが、いま一度お聞きします。特に農振除外等、県との接触はどうなっているのか。またいつごろになるのかお聞きします。

次に、南の400坪の土地を、当局が6月ごろからどのようにするのか副村長を中心としてプロジェクトを組み、6月5日、6月19日、7月3日、7月9日、7月20日、7月27日、8月17日、9月14日と8回の協議会が行われ、村長は2回ほど出席されておりますが、8月30日の議会全員協議会で副村長の説明が一言もありませんでした。なかなかその顔が見えないのではないのでしょうか。これまでにどのような構想が出てきたのか。また持っているのかお聞きします。

またその土地を村として賃貸として地権者に借りたいのか、一括購入したいのか、その財源をどうするのかお聞きします。

以上でございます。よろしくお願ひします。

議長（竹島ユリ子君） 村長 金森勝雄君。

村長（金森勝雄君） 3番山崎知信議員のご質問にお答えいたします。

議員から6月議会に引き続き、東芦原商業地開発計画への取り組みについてのご質問をいただきました。私は議員の計画実現への期待感、関心の高さのあらわれと受けとめている次第であります。

さてご質問のとおり、私は6月議会でこの計画についてスピード感を持って対応して

まいりたいとお答えいたしました。事実、6月議会終了後から8月末までの2カ月半で、私は5回と記憶しているわけですが、概ね2週間に1回のペースで計画に関する検討会を重ねてまいりました。

ご承知のとおり、住民基本台帳法に基づく村の人口は、8月1日で2,902人、9月1日で2,904人と平成4年の1,450人から倍増いたしました。タウンミーティングでは、転入間もない方々から、村内に生鮮食品を扱う店がなく不便だという要望がありました。総合計画後期基本計画で高齢者の皆さんも快適で安心して生活できるまちづくりを目指している中で、具体的にどのような計画が望ましいのかさまざまな角度から意見集約に努めたところであります。

一方、郊外型店舗が数多くある中で、経営的に成立する規模やあるいは消費者動向も踏まえた出店内容について開発業者の意向も伺ったものであります。これらの協議を踏まえ、9月14日に開発業者から手続の第一歩となります農振除外申請書が提出されました。目下、担当課で申請内容のチェックをしておるわけですが、県の同意を得るこの手続に、通常ですと約6カ月必要であります。ご承知のとおり、国の動向は中心市街地の活性化を地域づくりの核とする旨でありますので、県の対応もより一層慎重になるものと考えられますので、思わぬ日数がかかることも予想されます。そのほか大規模店舗立地法の届出に約8カ月間ぐらいの期間がかかると県担当課から聞いております。また計画地は埋蔵文化財包蔵地でもありますので、試掘調査結果で本調査が必要となれば、調査が終了しなければ着工できないといったさまざまなハードルがあります。これらの手続に必要な期間も開発業者とは十分打ち合わせの上進めてきております。今後とも利便性の高い生活環境の確保に向けた対応に努めてまいりたいと考えております。

なお、開発計画地は主要県道富山立山魚津線沿いでもあり、かねてから村の南の玄関口としてふさわしい環境づくりが求められております。全体構想では商業施設のほか舟橋村をアピールするロードサインや、村民同士の交流や周辺住民とのふれあいを視野に入れた地域オンリーワンを目指した施設整備も一つの案として検討しております。どのような形態が最も望ましいのか十分検討しておることをご報告申し上げておきます。

つけ加えて申し上げますと、今山崎議員がおっしゃった400坪の件につきましては、個人の方の所有地でございます。先般もその個人の方が構想を持っておいでになります。私は、その方の意見を聞いておりましてなるほどなど。要するに、賃貸で施設を建

てることを前提にしたことを申し上げるわけですが、その方が5階建てなら5階建ての施設をつくられるとすれば、その階を何階かお借りして、先ほど言いましたオンリーワンというのはいろんなものがあると思うのですが、例えば教育的なものもあるだろうし、あるいは地域間の交流となれば、今はやりの舟橋村の文化・スポーツクラブでいろいろ講座を開いております。あの一部をその場所で開設するとかいろんな方法があると思うのです。

そういったことで、舟橋村民のみならず、周辺の人たちの交流によってそういったものが生まれていくというか、推進していくといったことも大切だと思っています。

ですから、私が現在考えているのは、物をつくるのではなしに、地主さんがつくられた施設の一部をお借りするというで進めてまいりたいというふうに考えております。

今後その件につきましては議会の議員の皆さんと十分相談させていただきますので、その点をご理解いただきまして私の答弁にかえさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。